

I
包括協定II
北近畿地域連携
シンポジウムIII
まちかど
キャンパス事業IV
顔の見えるセンター
委員紹介VOL.2

北 近 畿 地 域 連 携 セ ン タ ー



NEWSLETTER

Vol. 3

I 包括協定

報
告

2019年1月10日（木）、京都府北部地域連携都市圏を構成する4市2町（舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町）と本学との包括的連携協力に関する協定の調印式を本学で執り行いました。当日の調印式には多々見舞鶴市長、山崎綾部市長、城崎宮津市長、三崎京丹後市長、吉本伊根町長、山添与謝野町長と井口和起学長が出席し、立会人として大橋一夫福知山市長にご出席頂きました。

また、2019年1月25日（金）には丹波市、朝来市と本学との包括的連携協力に関する協定の調印式を本学で執り行いました。兵庫県の自治体としては初になります。当日は谷口丹波市長、多次朝来市長、井口和起学長が出席し、立会人として大橋一夫福知山市長にご出席頂きました。



写真

包括的連携協力
に関する協定
締結の様子①

写真

包括的連携協力
に関する協定
締結の様子②

II 北近畿地域連携シンポジウム

報
告

第2回から第5回まで北近畿地域連携シンポジウムが終了しました。

第2回は「地域コミュニティと自治体のよりよい「つながりかた」を考える」と題し、2018年10月13日（土）市民交流プラザふくちやま市民交流スペースで開催し、73人の参加がありました（基調講演は花巻市コミュニティアドバイザーの役重眞喜子さん）。第3回は「日本海新時代とグローカリズム」と題して、同年11月3日（土）、舞鶴市西地区多機能施設で開催し、43人の参加がありました（基調講演は龍谷大学教授の李相哲さん）。第4回は、「農福連携を通じた障がい者の社会参加」をテーマに同年11月27日（火）、養父市立八鹿公民館で開催し、50人の参加がありました（基調講演はJA共催総合研究所主任研究員の濱田健司さん）。第5回は「地域とAIについて考える」をテーマに同年12月20日（木）、豊岡市役所大会議室で開催し、152人の参加がありました（基調講演は京都大学教授の西田豊明さん）。

写真

第5回北近畿
地域連携シン
ポジウムパネ
ルディスカッ
ションの様子

Ⅲ まちかどキャンパス 事業

報 告

2018年12月26日（水）、まちかどキャンパス事業の一環として、宮津市福祉・教育総合プラザにおいて「第1回宮津わかもの会議」を開催しました。宮津わかもの会議は、平成生まれの若者が集まり、宮津市や自分たちの将来について考える会議です。宮津にゆかりのある高校生や大学生、市職員、地域おこし協力隊の方など24人の参加者のほか、多くの傍聴参加がありました。冒頭、宮津市出身で実行委員長の高原望乃さん（地域経営学科2年生）の挨拶のあと、第一部としてTEAM旦波の濱田祐太さん、Mおいしいグルメ開発研究所所長の小松美香さん、上宮津地域会議の八尋慈教さんにご講演いただきました。第二部は「宮津愛を高めるためにわかものができること」と題して4グループに分かれてのワークショップを行い、最終的に「宮津わかもの宣言～わかもの約30人による宮津の30の未来～」を取りまとめました。最後は城崎宮津市長と西村丹後広域振興局長から講評を頂き閉会しました。参加者からは「思っていた以上に盛り上がった。いろんな人と交流でき、わかもの会議が開催できて本当によかった」「人を呼び込める可能性がある地域の魅力に、まずは地元の人気が付くことが大事だと感じた」といった感想が寄せられました。



写真：第1回宮津わかもの会議の様子

topics

北近畿地域連携センターでは、丹波市・朝来市・福知山市との3市連携による、まちかどキャンパス事業も展開しています。今年度は12月21日に「高大連携勉強会」を開催し、3市で働く高校の教員15人にお集まり頂き、前半は京都大学の高見茂特任教授による話題提供、後半は意見交換を行いました。



写真：第1回高大連携勉強会の様子

今号より、ニュースレターにて北近畿地域連携会議で活躍中の会員のみなさんを紹介して参ります。

北近畿地域連携会議 会員紹介

『京都北都信用金庫』

京都北都信用金庫さんは明治34年に創立された歴史ある地元金融機関。管内に39店舗あり、管内企業の約6割のメインバンクとなっています（平成30年3月現在）。

本学とは平成29年3月31日に包括協定を締結。北近畿地域連携会議のほか、協力講義などでもお世話になっています。

委員紹介

福知山に来てこの3月で15年になります。以前、コンピュータの研究開発に関わる仕事をしていた関係で、大学ではコンピュータに関わる仕事をしていることが多くなっています。福知山公立大学のメディアセンターは、図書館だけでなく、大学内のコンピュータインフラも担当しており、私がメディアセンター長であるのもそのためです。2017年度にメディアセンターを改修し、図書館機能だけでなく、コンピュータ系の設備が大きく改善しました。皆様のご利用をお待ちしております。一方、2018年度は、「観光者行動の分析」や「AIを使った農作物の選別」の研究に取り組みました。コンピュータや電子回路のような電気関連でお困りのことがございましたら、お声がけください。

専門分野は教育行政・教育政策で、教育資源をいかに調達し配分するかといったことを研究しております。また、学生の教育という面では、キャリア教育関連の科目であったり、学生の独自プロジェクトを学内で公募する「学生プロジェクト」のとりまとめ役を行ったりと、比較的学生との接点の多い役割を担っています。

地域の皆様との関わりについては、社会教育委員や教育事務事業評価委員等への就任、大学生による学習支援事業のとりまとめ、高校教員との勉強会・研究会の実施、小学校・中学校・高校における探究学習との連携等、教育分野を中心に各関係者の方にお世話になっているところです。

まだまだ拙い面も多いですが、地域の皆様とより多くの接点を持てていければと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

私が、山口県から福知山市に移住して、約2年10カ月が経ちました。山口にいた時は、「様々な世界を知りたい。県外ではどのような地域課題と向き合っているか知りたい」と漠然と思っていました。ひょんなことから、福知山市に「地域のための大学」を理念に地域と向き合う大学ができ、事務職員を募集していることを知りました。「ここで働きたい!」と強く思い、応募したところ、運よく採用していただきました。現在は福知山公立大学の地域連携の柱となる「北近畿地域連携センター」で勤務しており、地域の方々の声に耳を傾け、学生が地域で学び、大学が地域と有機的につながれるように日々思考しています。仕事は大変ですが、職場は熱意ある教員や学生に囲まれ、いい刺激を受けながら、業務に取り組むことができています。本学及び本センターが地域の皆様に不可欠の存在と認識いただけるよう、尽力したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。 事務局 賀田 秀樹

委員
(兼メディアセンター長)



神谷 達夫
地域経営学部医療福祉経営学科教授

委員
(兼実践教育専門委員長)



江上 直樹
地域経営学部地域経営学科助教

福知山公立大学
北近畿地域連携センター

住 所：福知山市字堀3370
電 話：0773-24-7151
FAX：0773-24-7152
Email: kita-re@fukuchiyama.ac.jp

発行人：杉岡 秀紀

発行日：2019年1月31日